

# 銅 概 況

大阪市中央区玉造2丁目28番10号  
加藤金属興業株式会社

## ◎ 2020年5月の国内電気銅建値は下記の通りです。

5月	7日	～	590円/Kg
5月	12日	～	610円/Kg
5月	15日	～	600円/Kg
5月	20日	～	610円/kg

2020年5月度は平均で604.70円/kgとなり、前月比20.70円/kgの値上がりとなりました。

### 海外銅価の動き

5月のLME銅相場	5/1～5/28 (安値ドル 5,058.00～5,387.00 高値ドル)
5月のNYC銅相場	5/1～5/28 (安値セント 231.85～246.75 高値セント)

5月度のLME現物は、5/1 \$5,061.00 でスタート。世界経済の情勢は余りにも先が見えず、不安要素が充満している。欧米各国にややコロナウイルスに対する落ち着きが出始めたとしてもブラジルやロシアなどでは今が盛りの勢いである。どこかが収まる動きになると思うと、違うどこかが噴き出てくる様子は中々変わりそうにはない。そんな状況においても大国の思惑は優先され、経済にも影を落とす話題しかないのが現状なのか。ウイルスの発生源やWHOへの非難合戦に加え、月末には中国全人代が香港への“国家安全法”の導入が決まった。米中の経済戦争が更に拡大、深みへとつながる可能性には世界経済及びLME銅相場にも大きく影響が考えられる。LME在庫は25万tを挟む高水準で推移。LME現物価格は\$5,000台前半での動きとなっている。\$5,000を切らないのが不思議な情勢ではあるが、株価やオイルが状況よりも価格が安定している影響も大きいと思われる。

銅需給バランス…Brook Hunt 情報 2019年12月 資料より (単位/千トン)

	2019年 実績	2020年 実績	前年比	2021年 予想	前年比	2022年 予想	前年比
全世界地金生産	23,531	23,986	+1.9%	24,639	+2.7%	25,095	+1.8%
全世界地金消費	23,621	24,040	+1.8%	24,593	+2.3%	25,196	+2.5%
全世界需給バランス	-90	-54		+46		-101	

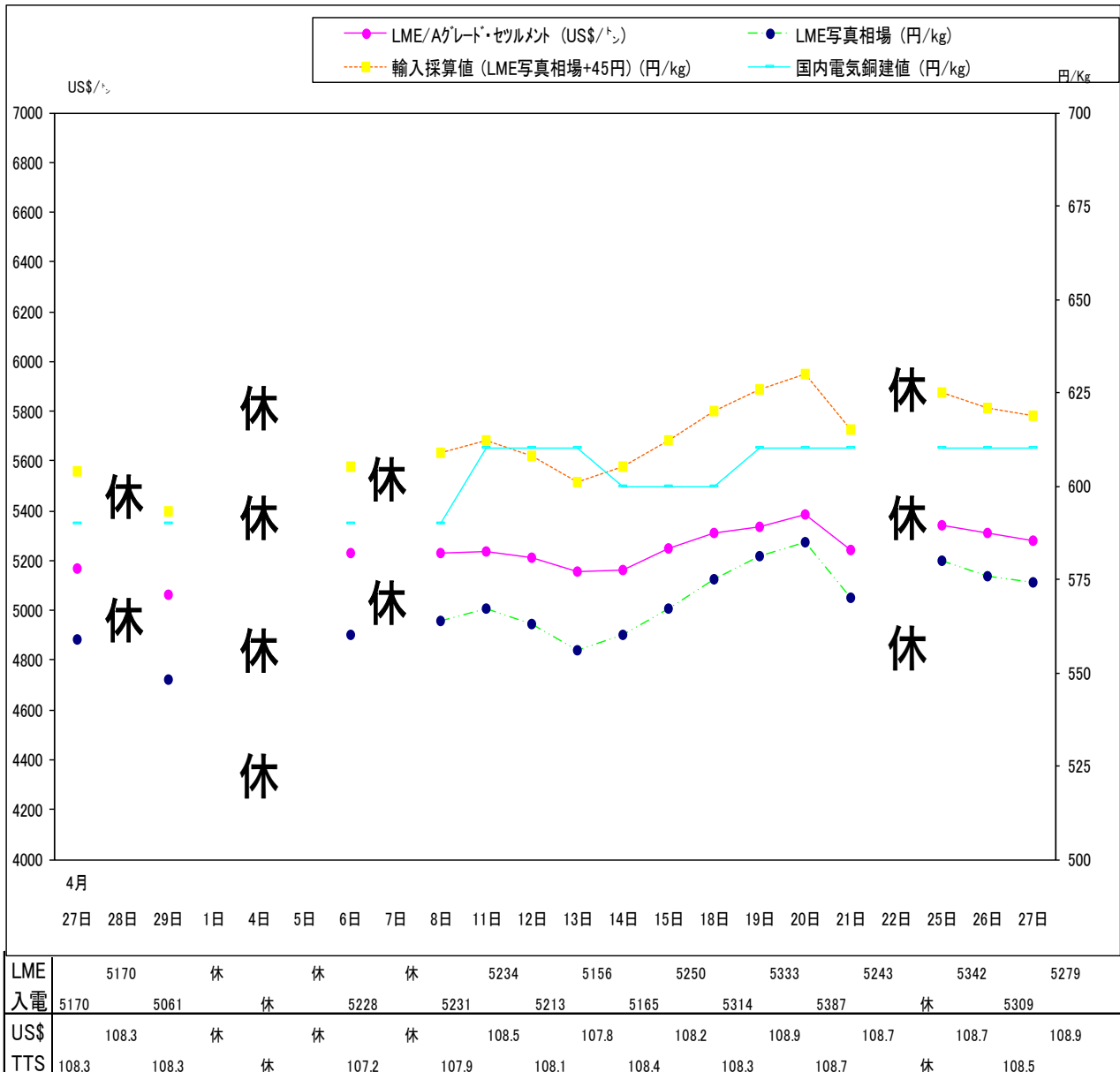
### 先行き短期見通

#### 国内銅価

5月の国内建値は5/1 590円でスタート。12日 610円に上がるも、15日にはすぐに600円にダウン。20日 610円にも戻す中で相場価格、為替、在庫を含め経済状況も様子見となった形で月末となった。

5/28付 LME \$5,278.50、同 為替 (TTS) 1USD=108.92円で日本円換算計算値 575円/kgに。2020年5月度の国内電気銅建値のスタートは、以降変化のない限り、610円/kgの予想です。

◎ LME相場推移及び国内電気銅建値推移



◎ 2020年5月の国内亜鉛建値は下記の通りです。

- 5月 7日 ~ 262 円/kg
- 5月 12日 ~ 271 円/kg
- 5月 15日 ~ 265 円/kg
- 5月 20日 ~ 271 円/kg
- 5月 27日 ~ 268 円/kg

平均267.50円/kg

2020年5月は上記の通りで前月比 8.00 円/kg の値上げとなりました。

これはLME亜鉛相場が上昇したため。

## ◎ その他の建値

電気鉛	5月	236.00 円/kg	(前月比-	7.60 円/kg)
電気錫 (相対)	5月	3,050.00 円/kg	(前月比+	40.00 円/kg)
ニッケル (溶解用)	5月中価格	1,450.00 円/kg	~ 1,500.00 円/kg	
銀	4月平均	53,690.00 円/kg	(前月比-	310.00 円/kg)
	5月29日	61,340.00 円/kg		
金	4月平均	5,848.76 円/g	(前月比+	297.76 円/g)
	5月29日	5,960.00 円/g		

## ◎ 伸銅品関係

### 2020年4月の伸銅品・品種別生産速報 (全国ベース)

		3月度実績	4月度速報	前月比	前年4月度実績	前年同月比
銅	板	1,176	974	-17.2%	1,687	-42.3%
	条	20,489	21,395	4.4%	21,328	0.3%
	管	9,236	8,186	-11.4%	9,275	-11.7%
	棒	1,958	1,824	-6.8%	2,198	-17.0%
	線	262	284	8.4%	262	8.4%
黄銅	板	559	544	-2.7%	631	-13.8%
	条	7,903	7,417	-6.1%	8,331	-11.0%
	管	459	456	-0.7%	522	-12.6%
	棒	13,901	13,420	-3.5%	15,274	-12.1%
	線	2,004	1,817	-9.3%	2,218	-18.1%
青銅	板	2,301	2,290	-0.5%	1,833	24.9%
	条					
	棒	282	261	-7.4%	273	-4.4%
	線					
洋白・その他	板	436	400	-8.3%	371	7.8%
	条					
	棒	378	343	-9.3%	497	-31.0%
	線					
合計	61,344	59,611	-2.8%	64,700	-7.9%	

4月の伸銅品生産速報は、59,611トンで前月比マイナス1,733、前年同月比マイナス7.9%となり、前年同月比が17ヶ月連続でマイナスとなりました。

## 電 線 関 係

電線工業会がまとめた銅電線主要7部門別出荷数量の2月分実績及び3月分推定は、2月分実績は通信と電力、自動車が前年を上回ったものの、ウェイトの高い建設電販が減少し、更に電気機械の不調もあり、総計5万5千13t(前年同月比3.0%減)。

一方、3月分の銅電線出荷推定では、電力や自動車等の3部門が増加するものの、主力の建設電販が2万6千300tで同6.9%減と伸び悩んだほか、電気機械等の不調が響き総計は5万7千400t(同2.4%減)と6ヶ月連続で前年を下回る見通し。

2月分の部門別出荷は、前年同月比でプラスグループは通信、電力、自動車の3部門になった。通信はCCPなどLANケーブルが動いたほか、一部5G絡みも健闘して同20.5%増と大幅に伸び、2ヵ月連続で伸長した。ただ、伸び率が高いのはベースが小さいため。電力は、洋上風力発電向けが動き出したことと、CVケーブルの一部張替え需要や原発ケーブル需要にメンテナンスが重なり、同5%増と、3ヵ月連続での伸長。また、自動車は、市場や生産台数が増え、次世代車も増加するなど回路数増が牽引した形。

一方マイナスグループは、電気機械と建設電販、その他内需、輸出の4部門になった。このうち電気機械は貿易摩擦等の影響が続き同5.0%減少し、18ヵ月連続の前年割れ。建設電販は電設向け需要が終焉し、地方が落込み更に前年同月が健闘した事もあり、2万6千2tで同5.7%減と振るわず、その他内需も設備投資が低調なことが響き同2.3%減。輸出は同5.2%減となった。

### 2020年2月分(実績)・2020年3月分(推定)主要部門別出荷

部門	数 量						金 額		
	2月実績 (t)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)	3月推定 (t)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)	2月実績 (百万円)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)
通信	806	▼9.1	20.5	800	(▼0.7)	▼1.8	1,317	▼9.7	9.2
電力	(1,212)	(▼9.5)	(▼44.3)	(2,500)	(106.3)	(▼12.1)	(880)	(▼12.6)	(▼43.3)
	4,121	3.4	7.9	5,600	35.9	32.9	5,068	5.4	5.4
電気機械	(279)	(6.9)	(▼30.1)				(281)	(11.1)	(▼25.5)
	11,111	4.0	▼5.0	10,900	▼1.9	▼5.9	14,902	2.2	▼6.3
自動車	(177)	(21.2)	(▼2.2)				(634)	(14.9)	(▼8.4)
	7,653	7.4	2.7	7,900	3.2	2.5	38,041	4.7	5.3
建設・電販	(11)	(▼31.2)	(▼95.8)				(11)	(▼31.2)	(▼93.6)
	26,002	▼2.0	▼5.7	26,300	1.1	▼6.9	29,174	▼4.4	▼7.6
その他内需	(40)	(▼51.2)	(48.1)	(600)	(18.3)	(▼25.9)	(50)	(▼40.5)	(47.1)
	3,871	▼0.8	▼2.3	4,300	11.1	6.3	6,692	▼1.6	▼3.9
内需計	(1,719)	(▼6.8)	(▼43.6)	(3,100)	(80.3)	(▼15.2)	(1,856)	(▼3.0)	(▼34.4)
	53,564	0.8	▼2.9	55,800	4.2	▼1.4	95,195	0.7	▼1.4
輸出	(190)	(▼84.2)	(18900.0)	(1,800)	(847.4)	(421.7)	(113)	(▼82.2)	(2160.0)
	1,449	31.1	▼5.2	1,600	10.4	▼27.8	5,002	16.9	5.0
合計	(1,909)	(▼37.4)	(▼37.4)	(4,900)	(156.7)	(22.5)	(1,969)	(▼22.7)	(▼30.5)
	55,013	1.5	▼3.0	57,400	4.3	▼2.4	100,197	1.4	▼1.1
心線販売	(501)	(▼11.0)	(▼66.1)	(400)	(▼20.2)	(▼60.9)	(125)	(▼12.0)	(▼69.6)
	25,416	▼1.3	▼10.7	25,800	1.5	▼11.0	17,545	▼1.3	▼13.9

(注) ( )内はアルミ線を示し外数。ただし推定欄のアルミ線は電力、輸出部門以外は「その他内需部門」に一括計上。▼はマイナス。  
金額は四捨五入の為計が合わない場合がある。

### 2020年2月分品種別出荷 単位:銅量:トン アルミ量:トン 金額:百万円

品種	数量	対前月比 (%)	対前年 同月比(%)	金額	対前月比 (%)	対前年 同月比	
裸線	3,614	10.4	0.3	2,993	11.1	▼14.8	
巻線	10,731	5.2	▼3.2	11,427	5.9	▼3.7	
機器用電線	3,137	▼1.7	▼8.8	9,282	1.0	▼4.5	
通信用電線・ケーブル	1,245	▼6.0	▼3.0	2,776	▼8.3	▼4.3	
電力用電線・ケーブル	21,308	2.6	5.2	22,484	3.6	5.7	
被覆線	9,231	▼5.0	▼15.0	12,990	▼8.6	▼14.5	
輸送用電線	5,747	▼0.1	▼6.8	38,246	2.9	3.7	
銅電線計	55,013	1.5	▼3.0	100,197	1.4	▼1.1	
EM電線・ ケーブル	通信用電線・ケーブル	77	0.0	0.0	256	1.2	▼2.3
	電力用電線・ケーブル、被覆線	3,087	▼11.9	6.9	3,473	▼14.6	2.5
	計	3,167	▼11.7	6.6	3,746	▼14.1	2.0
アルミ電線計	1,909	▼37.4	▼37.4	1,969	▼22.7	▼30.5	
光製品	3,206,417	17.5	▼14.0	22,695	▼6.0	▼1.1	
うち、光ファイバーケーブルコード	-	-	-	5,309	10.3	9.1	

(注) 1. EM電線・ケーブルはJCS規格17品種が対象であり、機器用、消防用等のノンハロタイプは含まれない

(注) 2. 四捨五入の為計が合わない場合がある。

(注) 3. 光製品の数量はkmc

(注) 4. ▼はマイナス

## ◎ アルミニウム関係

- 国際アルミニウム地金相場、第1週、中国4月国家PMIは50.8で3月の52より下落。財新4月PMIも49.4で3月50.1から低下し、共に市場予想を下回ると同時に、内需は維持できても、輸出の減少には何の手立てもない状況が浮き彫りとなった。中国も連休に入るため相場は閑散としているが、米ADP雇用統計が、4月に雇用が2023万人減少したという結果を伝えると急激にセンチメントが悪化し105円に近い段階まで円高が進んだ。第2週、中国新車販売台数が低調ながら前年比+4.4%とマイナスからプラスに転じたことで日中強気に推移していたが、中国、韓国で感染が広がり二次感染リスクから相場は押し戻された。セル・イン・メイ（5月に売れ）の相場格言もあり下落基調。第3週、米モデルナ社のワクチン治験で投与者全員が抗体を確認したという報道で、NYダウが1000ドル超も上昇。諸相場とも上昇した。その後、治験結果に疑問がもたれ株価は低迷するもののメタルが単独で上昇を継続。SHFEがLMEより高値となっておりその差を詰める買いが一挙に押し寄せLMEを押し上げた。第4週、SHFE銅在庫が再び3万トン強の減少。アルミ在庫も3万トン弱減少し、元安など弱気要因も多い中、強い需給が相場を押し上げる。米国感染者数が25日に18586人と2万人を割り込み、ワクチン開発への期待とでNYダウ株も反発に転じたこともあり上昇するも中国による香港問題と米国の制裁検討中との報道を受けて下落方向へ。強材料と弱材料が入り乱れる展開の中、当面は\$1,530前後での狭いレンジでの推移を予想。

## ○ 対日オファー及び国内価格

- ・対日オファー（CIF） 2020年 4~5月積 1,573.00~1,583.00ドル/トン
- ・輸入採算価格 2020年 4~5月積 181.30~182.50円/kg
- ・NSP 2020年 3月 224.80円/kg
- ・NSP（メーカー対応価格） 2020年 4月~6月 250.00円/kg

## ○ I A I 統計アルミニウム新地金生産高（単位=千トン）

	'20年3月	'20年4月	'19年4月
月生産	*2,369.0	2,277.0	2,282.0
平均日産	*76.4	75.9	76.1

(\*＝訂正有り) 中国は対象外にしております。

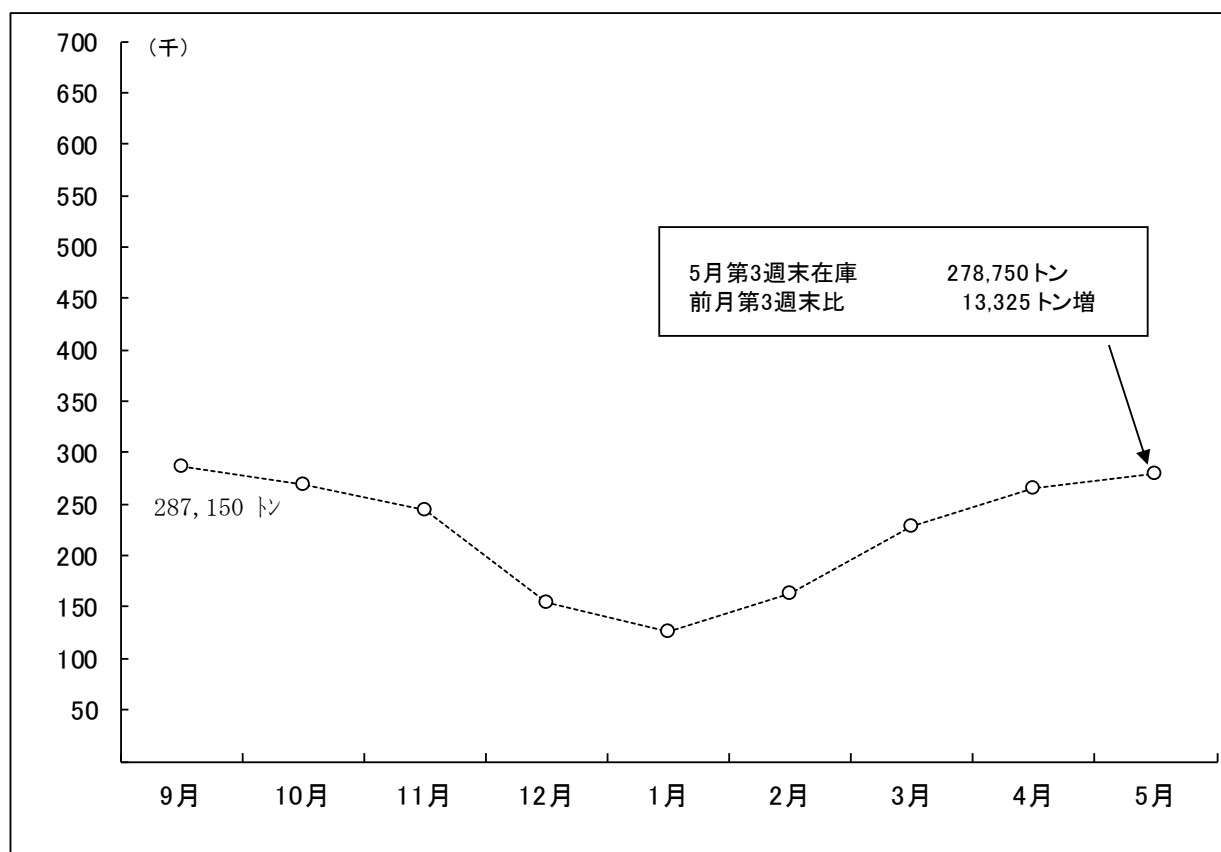
## ○ アルミインゴット港湾在庫

(単位：トン)

	2019年1月	2020年2月	増減	2019年2月	増減
横浜	160,200	157,300	-2,900	155,900	+1,400
名古屋	130,000	126,600	-3,400	148,800	-22,200
大阪	15,000	14,500	-500	15,000	-500
合計	305,200	298,400	-6,800	319,700	-21,300

上記アルミインゴット港湾在庫に変更致しました。(2015年1月分からの変更です)

◎ LME銅在庫 (各月第3週末参考)



◎ COMEX在庫 (第3週末)

・20年5月15日現在 48,159 S T 前月比 6,833 S T 増

◎ 国内山元電気銅在庫

・20年3月末 104,933 トン 前月比 4,821 トン減

◎ 伸銅品生産実績

・20年3月確報 61,344 トン  
 ・20年4月速報 59,611 トン 前月比 97.0 %

◎ 電線出荷実績

・20年4月速報 51,700 トン 前月比 90.1 %

◎ 軽圧品生産実績

・20年 4月	板 類	95,421 トン	
	押 出 類	57,634 トン	
		<hr/>	
		153,055 トン	前月比 96.5 %

以上簡単ですが銅概況、他のご報告申し上げます。